

消防職員専科教育

第 3 9 期救助科を実施しました

[期 間] 令和7年9月4日（木）から10月6日（月）まで
21日間（168時限）

[会 場] 埼玉県消防学校

[到達目標] 救助活動に係る最新の専門的知識及び高度な技能及び技術を備え、これらを活用した応用力を十分に発揮できる。
また、救助活動及び救助訓練に必要な健康管理ができる。

[教育対象] 救助業務に従事させようとする者で、初任教育修了者かつ採用後3年以上の消防経験を有する35歳以下の者（入校日現在）

[修了者] 26消防本部（局）60名



第39期救助科 日課表

月 日	曜日	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限	8時限	備 考	特記事項	
		8:40～ 9:30	9:30～ 10:20	10:40～ 11:30	11:30～ 12:20	13:20～ 14:10	14:10～ 15:00	15:20～ 16:10	16:10～ 17:00			
9月4日	木	行事その他	講話／その他			安全管理		災害救助対策	行事その他		・入校日	
		入校式	救助隊員の心構え／校内服務			安全管理Ⅰ／熱中症対策		救助関係法令	校内服務			
		担当教官	総括教官／助教官			担当教官						
9月5日	金	災害救助対策			安全管理		その他（合同）				・帰宅日	
		令和6年奥能登豪雨(WEB)		土砂災害対策		訓練上の安全管理		基本行動・救助員点検				
		石川県奥能登広域事務組合消防本部		深谷市消防本部		副総括教官		消防本部支援教官				
9月8日	月	災害救助対策			救助器具取扱訓練（技能確認）							・登校日
		災害事例										
		草加八潮消防局			消防本部支援教官							
9月9日	火	救助器具取扱訓練（技能確認）										
		消防本部支援教官										
9月10日	水	災害救助対策		救 急（合同）								
		能登半島地震(WEB)		多数傷病者発生時の対応要領								
		石川県奥能登広域事務組合消防本部		消防本部支援講師								
9月11日	木	救助訓練										
		検索救助・搬送訓練（第1小隊）			施設設定訓練（第1小隊）							
		施設設定訓練（第2小隊）			検索救助・搬送訓練（第2小隊）							
		消防本部支援教官										
9月12日	金	救助訓練									・帰宅日	
		高所からの火災救助訓練（第1小隊）			宙吊り救助訓練（第1小隊）							
		宙吊り救助訓練（第2小隊）			高所からの火災救助訓練（第2小隊）							
		消防本部支援教官										
9月16日	火	救助訓練									・登校日	
		はしご水平救助（二）訓練（第1小隊）			一箇所吊り担架水平救助訓練（第1小隊）							
		一箇所吊り担架水平救助訓練（第2小隊）			はしご水平救助（二）訓練（第2小隊）							
		消防本部支援教官										
9月17日	水	救助訓練										
		立坑・はしごクレーン救助訓練（第1小隊）			斜めブリッジ救助訓練（第1小隊）							
		斜めブリッジ救助訓練（第2小隊）			立坑・はしごクレーン救助訓練（第2小隊）							
		消防本部支援教官										
9月18日	木	救助訓練（合同）								校外研修Ⅰ		
		交通事故における救助										
		帝国繊維株式会社										
9月19日	金	救助訓練／安全管理			総合訓練（合同）						・帰宅日	
		航空救助／安全管理Ⅱ			交通救助想定訓練							
		埼玉県防災航空隊			消防本部支援教官							
9月22日	月	安全管理		総合訓練（合同）							・登校日 ・帰宅日	
		火災時における安全管理		火災想定訓練								
		担当教官・支援教官		消防本部支援教官								
9月24日	水	救助器具取扱訓練（合同）			総合訓練（合同）						・登校日	
		震災救助Ⅰ			震災救助Ⅱ							
		川越地区消防局										
9月25日	木	総合訓練（合同）										
		各種救助事象における想定訓練Ⅰ（合同）										
		消防本部支援教官										
9月26日	金	その他	総合訓練（合同）									・安全管理の日 ・帰宅日
		安全祈願	各種救助事象における想定訓練Ⅱ									
		全職員	消防本部支援教官									
9月29日	月	災害救助対策			救助器具取扱訓練（合同）						・登校日	
		急流救助対策		山岳救助対策		都市型救助資機材取扱						
		秩父消防本部		埼玉西部消防局		草加八潮消防局						
9月30日	火	救助器具取扱訓練／総合訓練 校外研修Ⅱ：山岳救助（第1小隊）								校外研修Ⅱ 校外研修Ⅲ		
		総合訓練／想定訓練Ⅲ 震災時対応訓練			校外研修Ⅲ：土砂災害（第2小隊）							
		山岳救助／埼玉西部消防局			土砂災害／支援教官							
10月1日	水	救助器具取扱訓練／総合訓練 校外研修Ⅱ：山岳救助（第2小隊）								校外研修Ⅱ 校外研修Ⅲ		
		総合訓練／想定訓練Ⅲ 震災時対応訓練			校外研修Ⅲ：土砂災害（第1小隊）							
		山岳救助／埼玉西部消防局			土砂災害／支援教官							
10月2日	木	フレックス	効果測定（合同）			総合訓練（合同）			夜間訓練 18時～20時			
			実技			分隊活動効果確認						
			消防本部支援教官									
10月3日	金	効果測定（合同）	安全管理		災害救助対策			行事その他			・帰宅日	
		座学	訓練施設・設備の安全管理		事例研究			校内服務				
		担当教官	消防本部支援教官						担当教官			
10月6日	月	災害救助対策			健康管理			行事その他			・修了日	
		救助活動と活動事例(WEB)			ベップトーク			修了式				
		石川県奥能登広域事務組合消防本部			トレーナーズスクエア株式会社			担当教官				



宙吊り救助訓練



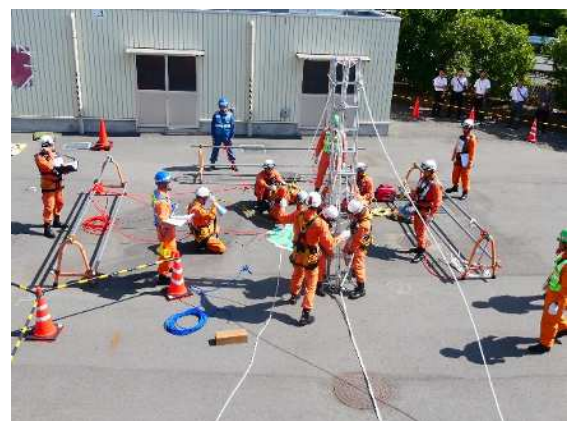
火災救助訓練



斜めブリッジ救助訓練



都市型救助資機材取扱訓練



立杭・はしごクレーン救助訓練



震災救助Ⅰ（ショアリング訓練）



震災救助Ⅱ（情報管理）



校外研修Ⅰ（車両破壊訓練）



校外研修Ⅰ（水没車両破壊訓練）



校外研修Ⅰ（車両埋没訓練）



校外研修Ⅱ（山岳救助訓練）



校外研修Ⅲ（土砂災害訓練）



修了しての感想

とても不安がある中での入校となりましたが、第2小隊総代や両副総代、各分隊長に支えられ、救助科を修了することができました。学生60名と同じラインに立ちながらのリーダーシップはとても難しいものでした。最後までリーダーシップとは何かを自問自答しながらの救助科でしたが、今振り返ると、物事の最善を目指すために必死に考え、試行錯誤しながらやってきた過程が自身の経験となり、成長できたことが財産となっていました。入校したときにあった「不安」は、救助科を修了したときには「自信」へと変わっていました。最高の環境を整えていただいた大川教官をはじめ、支援教官・助教官、第39期救助科に携わっていただいた全ての方々に感謝いたします。



後輩へのメッセージ

埼玉県消防学校の救助科では、かけがえのない経験をすることができます。このような経験は、後にも先にもこの救助科だけです。学生一人一人が色々な想いを持って入校しますが、和衷協同し人命救助に対して本気で向き合うことで最後には心をついに、同じ目標に向けてレベルの高い活動をすることができます。「要救助者を思いやり、仲間に寄り添うことができる隊員は、災害に強い」自分を信じ、仲間を信じ、突き進め！！

修了しての感想

総代は大変でした。入校前から統一事項や校内サービスを熟知し入校予定者に分かりやすく周知し準備に充てることや、入校後は学生の模範として規律を守ることに加えて、日課ごとに周知をしたり、学生行動に対する注意喚起など、自分に充てる時間はほとんどありませんでした。しかし、「大変」な日々を乗り越えて意識を「大きく変える」ことができ、総代の経験は一生の宝物です。



後輩へのメッセージ

救助科に対して入校前は厳しいイメージ、入校後も厳しい日々で委縮する傾向にありますが、本当に厳しいのは災害です。被災され厳しい環境で耐え忍ぶ住民の方々の苦労を想うと、救助科の教育は絶対に乗り越えなければならない登竜門であり、災害に立ち向かう強い意識と部隊の団結力を身に付ける場です。「人命救助」「和衷協同」のために自己研鑽と仲間づくりに励んでください。

修了しての感想

灼熱の21日間、第39期救助科60名全員が揃って修了できたことが何よりも嬉しく思います。振り返ると、本当に熱い日々だったなと思います。最初は学生全員がバラバラ、訓練も教官・助教官からの熱い指導、極度の緊張から上手くできず、悩む日々。しかし、和衷協同・人命救助のスローガンの下、学生全員が同じ方向を向き、最後には心をついに第39期救助科を修了できたのではないかなと思います。この教育に関わっていただいた方々に感謝します。



後輩へのメッセージ

覚悟を持って来ることをお勧めします。生半可な気持ちでは火傷します。仲間・教官・助教官・そして気温マジで激熱です。覚悟を持って来ることができれば、最高の仲間、救助技術の習得、何より人間性の向上をお約束します。
第40期救助科入校される皆さんの熱い気持ち期待しています。
埼玉救助魂

修了しての感想

学校教官、支援教官、救助科に関わっていただいた全ての関係者の皆様、大変お世話になりました。第39期救助科の学生が60名全員で修了することができて本当に良かったです。入校初日、全員が不安な気持ちであの場所に立っていたことは忘れません。21日間という世間からしたら短いとも思われるような期間ではありましたが、学生60名にとっては人生で一番長く、濃い21日間になったことに違いありません。良い活動するために切磋琢磨して、学生同士が毎晩話し合い、絆を深めていったからです。



私たち、第39期救助科学生は“Thank You”の期として、常に感謝の気持ちを忘れずに今後の消防人生を歩んでいきます。

後輩へのメッセージ

先輩方から過去の救助科のことを聞いて不安に思う人もいるかもしれません。私も同じく不安や緊張の思いを持って入校日に消防学校の門をくぐりました。色々な思いを持って救助科に来る学生がいると思いますが、これだけは伝えておきます。妥協することなく全力で取り組み、それに対して全力で応えてくれる最高の教官がいます。そして失敗を恐れずにどんなことにもチャレンジしてください。例え失敗しても必ずそれをフォローしてくれる最高の仲間がいます。

第40期救助科になる皆様、全員で和衷協同して最高の救助科にしてください。

修了しての感想

毎日充実した環境の中で、教官・助教官の厳しくも暖かい御指導をいただき、仲間とともに乗り越えることで、要救助者を必ず助けるという強い気持ちと、どんな状況でも絶対にあきらめない心を学びました。そしてたくさんの失敗や挑戦を通して、悔しい思いをしながらも自分自身を成長させることができたと思います。これらの経験は、私にとって一生の財産となりました。

第39期救助科に関わってくださったすべての方々に心から感謝するとともに、救助隊員としての自覚と覚悟を持ち、心から寄り添える隊員を目指していきたいと思います。



後輩へのメッセージ

救助科は最高の学びの場です。教官・助教官は、学生一人一人に本気で向き合ってください。訓練の中では、失敗したり悔しい思いをすることもたくさんあると思います。でもそれは成長するチャンスです。そこから何を学ぶか、そして、あきらめずに何度もチャレンジできるかが大切だと思います。不安だとしても、近くには必ず一緒に頑張ってくれる仲間がいます。仲間を信じて、自分を信じて、後悔のないように最後まで全力で走り切ってください。